

事務事業名	雲南市社会福祉協議会法人運営補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	総務G	課長名	梅木郁夫
施策名		(21)地域福祉の充実	担当者名	吉岡妙子	電話番号 (内線)
基本事業名	(061)福祉活動の実践と連携	予算科目	会計 款 項 目 中事業	社会福祉協議会法人運営事業補助金	
			0   1   1   5   0   5   0   5   7   7		

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	社会福祉法に基づき設置された雲南市社会福祉協議会が、社会福祉関係者、関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指したさまざまな事業、活動に対して補助を行なう。	合併に伴い、平成17年度に雲南市社会福祉協議会が発足。法律に基づき市から事業運営に対する補助を行なう。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
事業運営に対する補助金;120,903千円	国庫支出金	千円		1,606	1,490	1,350		
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	128,663	124,786	119,413	116,730		
	事業費計(A)	千円	128,663	126,392	120,903	118,080	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	100	100	100	100		
	人件費計(B)	千円	381	389	394	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	129,044	126,781	121,297	118,080	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 市社協の申請に基づき、補助を行う。 申請書の受理・審査・補助決定・補助金交付・実績報告(審査)・補助確定	⑤活動指標							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 前年度と同じ。	ア 補助金額	千円	128,663	126,392	120,903	118,080		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥対象指標							
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 市の人口	人	42,402	41,917	41,159	41,032		
	地域で支えあう意識を高め、住民主体の地域福祉活動の実践に繋げる。	イ							
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦成果指標							
	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。	ア 地域の中で福祉ボランティア活動をした市民の割合	%	21.3	23	23.4	23		
		イ							
		ウ							
		⑧上位成果指標							
		ア 地域の中で福祉ボランティア活動をした市民の割合	%	21.3	23	23.4	23		
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・市民の高齢化率が上昇、進展している状況にある。 ・H22年度からは、各地域において地区福祉委員会が設置され福祉活動を推進する体制が整備された。	特になし。	市民、地域等から地域福祉活動の重要性が求められている。

事務事業名	雲南市社会福祉協議会法人運営補助事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康福祉総務課
-------	--------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することができる「福祉のまちづくり」に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 社会福祉法に基づく事業であり公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 対象は市民すべてであり適切である。意図も、施策の目的に直結している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 市内全域に地区福祉委員会が設置されたことにより、これから更にやるべきことは多く成果向上が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 廃止すると社会福祉協議会の運営に影響がでる。そうなると、地域での福祉活動が停滞するため、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 社会福祉法に基づいた法人であり他に存在しない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業の見直し、人員配置等今後の社協のあり方を含め検討が必要である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現在は補助金の交付事務を主としており、活動内容等の指導を行っていない。今後、補助の効率性から事業内容等の見直しの指導等を行なうことにより、事務量の増が発生する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 市民全体の福祉活動につながるものであり公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度において、市社協から財政・組織機構等の今後の考えを示された。これにより、平成24年度以降の補助金について協議をおこなった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市社協の事業内容の洗い出しを進めていく。																							